

2022JASTRO 企画講演座長報告

独立行政法人国立病院機構栃木医療センター 放射線科 村上恵理

このたび、第 35 回日本放射線腫瘍学会学術大会において、JAWRO 企画講演が開催されました。本講演において、群馬大学 重粒子線医学推進機構の岡野奈緒子先生とともに座長を務めさせていただきましたのでご報告させていただきます。

今回の学術大会は 3 年ぶりの現地開催で、先生方と久しぶりの再会を果たすことができ、感慨もひとしおでした。

本講演では厚生労働省の坪井宏徳先生をお招きし、『医師の働き方改革の進捗等について』というテーマで 1 時間にわたりご講演いただきました。坪井先生は厚生労働省において、これまでも雇用均等や少子高齢局、新型コロナウイルス感染対策本部など重要課題の第一線でご活躍され、現在は医政局医事課・労働基準局労働条件政策課で「医師の働き方改革」に取り組んでいらっしゃいます。

医師の労働条件を改善するためには、他ならない私たちが日ごろから自主的に取り組まなければなりません、「働き方改革」の一連の流れを十分理解し実践している医師はごく少数ではないでしょうか。本講演では働き方改革のこれまでの流れと改正ポイントについて、非常にわかりやすくご説明いただきました。また実際の導入事例もご提示いただき、各自持ちかえって早速実践できるヒントがたくさん詰まった 1 時間になったのではないかと思います。参加された先生方からも大好評で、講演終了後も熱心な質問が続いておりました。控室で坪井先生とお話させていただきましたが、独善的主導では決してなく、現場の意見にも十分配慮しながら、医師はじめ医療者の労働条件改善のため腐心されていることを強く感じました。

ご多忙の中、本講演をお引き受けいただきました坪井宏徳先生に改めて感謝申し上げます。また第 35 回日本放射線腫瘍学会学術大会長の永田靖先生ならびに大会関係者の皆様、企画実現にご尽力いただきました JAWRO の皆様、当日ご参加いただきました皆様に心より御礼申し上げます。